

## 意見交換会

平成 30 年 6 月 13 日(水)  
午後 7 時 30 分～午後 9 時  
飯南産業文化センター

- Q、少人数の 1 号認定の子どもの迎えをみて不安がるのでないか。  
2 号認定の子から見えにくい帰り方ができる対応はないのか。
- A、連携型の認定こども園と違い、保育所型の 1 号認定の子どもは少人数、または 0 人ということも考えられる。  
今、答えは出ないが、保育の方法をこれから考えていく。
- Q、飯南出身であるが、市外へ出ていたが今年戻ってきた。保育園に入園できない状況であり、ぜひ、認定こども園にしてほしい。  
保育園から小学校、中学校へずっと一緒に育っている地域なので、地域の違う幼稚園へ行くと、集団のスタート地点が違うことが気になる。  
どういうラインで認定こども園にするしないを決断するのか。
- A、現在、幼稚園は人数で休園等の話があるが、認定こども園は希望がなくてもスタートできる。1 人でも 2 人でも思いのある方があるとしたら、地域としてどう考えるのか、地域性を大切に考えていく。人数で決めるわけではない。
- Q、園の名称はどうなるのか。
- A、名称は決められていない。
- Q、名札の色をかえるとか、1 号認定の子ども、2 号認定の子どもと見てわかるようにするなど区別するのか。
- A、視察した園では、名札等は使わず、職員が把握していた。特に見た目で区別をする必要はない。人数が多いと工夫、配慮は必要だが職員で話し合っていく。
- Q、3 年間の育休をとる予定であるが、その間に次の子ができると入園できないので、認定こども園にしてほしい。
- A、様々な家庭状況がある中、認定こども園に入園すればその園で認定は変わっても一緒に過ごせる。
- Q、保育士の認識、技量が必要になる。必ず、正規職員で対応するのか。
- A、飯南たんぽぽ保育園は保育士 12 人中 6 人が正規職員  
飯南ひまわり保育園は保育士 9 人中 5 人が正規職員

非常勤職員も多いが、両方の免許を持ち合わせているので、様々なことをしっかりと話し合い、子どもたちが安心して過ごせるように対応していける。  
認定こども園の職員配置もシュミレーションし考えていく。

Q、安心して預けるために、職員の処遇を手厚くする必要がある。職員体制は市が整えるべきである。

A、保育者の実践は様々なことがあるが、ケースを想定して、検証していく。

Q、今の園児や保護者が認定こども園になっても、楽しく過ごせればいい。  
今までの行事はどうなるのか。

A、例えば、遠足は降園時間の関係があるので、園に帰ってくる時間はかわってくるだろうが、保育内容をしっかりと話し合い、十分に楽しめる内容を考えていくことになる。  
そのまま、行事は生かし、1号認定の子どもも十分に経験できるように考えていく。

Q、1号認定の延長保育(あずかり保育)はどうなるのか。

A、今、嬉野地域は4つの幼稚園が14時～16時30分預かり保育をしているが、認定こども園では預かり保育が必要なら、2号認定になれば保育が可能になる。

Q、保育所保育指針、幼稚園教育要領とあるが、認定こども園はどうなるのか。

A、今は、保育園は保育所保育指針、幼稚園は幼稚園教育要領であるが、内容にかわりはない。生きる力を遊びの中から培い、なかまづくりを大切にしていく。

Q、平成30年4月からスタートするのであれば、最終決定はいつか。

A、募集要項が広報に掲載されることもあり、6月末～7月上旬には決定する。